

大阪府・大阪市と公益社団法人大阪府栄養士会は 災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定を締結

大阪府、大阪市内の地震等の大規模災害時において、大阪府・大阪市が行う被災者への健康維持活動に関して、災害救助法及び地域防災計画に基づき、(公社)大阪府栄養士会は協定を締結いたしました。

趣 旨：この協定は防災計画に基づき大阪府・大阪市が行う健康維持活動のうち、栄養・食生活支援活動に対する(公社)大阪府栄養士会の協力に関し、必要な事項を定めるものとする。

締結日時：大阪府 令和元年5月8日(水曜日)

大阪市 令和元年5月28日(火曜日)

協定内容：府・市から派遣を要請された管理栄養士チームによる以下の健康維持活動の実施

- (1) 被災者への巡回個別栄養相談
- (2) 避難所での食事状況調査や衛生指導、栄養健康教育
- (3) 特殊栄養食品の提供に係る支援



大阪府



大阪市

JDA-DAT大阪

東日本大震災から、支援するためのスタッフ養成講座が毎年開催され、(公社)大阪府栄養士会では236名のスタッフと12名のリーダーが研修を受け待機しています。

今回の災害時協定締結で、大阪府・大阪市からの要請を受けて、栄養士会から支援活動を行うことになりました。毎年JDA-DATスタッフを募集しているので研修を受講して、今後の大阪府、大阪市、または全国の災害支援活動に参加しましょう。

JDA-DAT大阪 リーダーのコメント

今までの活動をふりかえって思うこと

①阪神大震災での活動 米谷佳彦

この調印式に出席して、平成7年1月に起った阪神淡路大震災時、東京のYMCA団体から(公社)大阪府栄養士会に支援団体の食事の提供をお願いしたいとの申し出があった事を思い出しました。(公社)大阪府栄養士会では阪神香櫨園駅近くのYMCAの一角を借りて、昼・夕食を作ることとなり、会員の皆さん方の中から一緒に日割りに参加できる方を募り、支援団体方の食事を賄いました。余震を感じながらの作業でありましたが、栄養士として支援活動に協力できたことは、これからのJDA-DATの運営にも大きな自信となりました。

②東日本大震災、西日本豪雨、昆虫食について 松井欣也

東日本大震災の発生時は兵庫県に勤務していましたが、支援に行ける体制が整っていたため、日

本栄養士のホームページで支援募集を見て、支援活動を申し込みました。現地には3か月後の6月9日～13日の5日間、大阪府栄養士の代表として石巻市へ行き、石巻市桃生農業者トレーニングセンターで避難していた被災者（約35名）に昼の給食提供と、石巻ロイヤル病院内のSSB（入院するほどではないが、避難所では不適切）で避難していた被災者（約5名）の栄養状態の確認とアドバイスをを行いました。昨年8月の、西日本豪雨では（公社）大阪府栄養士会が中心となり岡山県の宇野港と水島港にて8月3日～18日、「貨客船はくおう」船内に倉敷市の各避難所から延べ417人を受け入れ、船内にて入浴、食事（夕食・朝食）、健康相談、栄養相談、その他（卓球など）にて短期間ではありますがリフレッシュして頂きました。

先日5月24日（金）18時15分からの朝日放送テレビ・キャストの「災害列島」の特集番組で、私の研究テーマである災害食と昆虫食について取り上げて頂きました。東日本大震災の支援に行き、栄養の偏りを目の当たりにして、バランスの良い非常食を目指している時に昆虫食と出あいました。しかし昆虫は、一部地域を除き、食べ物として認識されず、見た目も悪くグロテスクである。その嫌悪感を軽減するために試食会や講演などのイベントを開催しています。

（文責 西村智子）

※お願い！JDA-DAT大阪スタッフの皆様へ

昨年、西日本豪雨でスタッフの皆様にもメールにて支援者を募りましたが、送信できない方が多数おられました。先日、大阪府、大阪市との災害時協定が結ばれ、支援体制強化のため連絡網を整備したいと思います。つきましては、資料添付も可能で緊急連絡できるアドレス（自宅・職場PC、スマホなど）から（公社）大阪府栄養士会へ所属部会、氏名を明記の上、送信してください。ご協力、よろしくお願いいたします。

※ メールアドレス eiyoinfo@titan.ocn.ne.jp